

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 4 月 30 日 (2021.4.30)

【公開番号】特開 2021-7825 (P2021-7825A)
 【公開日】令和 3 年 1 月 28 日 (2021.1.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-004
 【出願番号】特願 2020-178785 (P2020-178785)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 12 日 (2021.3.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、
前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認
制御手段と、
遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、
遊技媒体が所定領域を通過したことに基づいて、普通識別情報の可変表示を行い表示結
果を導出表示する普通可変表示手段と、
普通識別情報の可変表示を行う普通可変表示期間を計時する普通可変表示計時手段と、
可変表示が停止した後から次の可変表示が開始されるまでの可変表示停止期間を計時す
る停止期間計時手段と、を備え、
前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が
許可される前に前記設定確認状態に制御可能であり、
前記設定確認状態が終了したときに前記割込処理が許可され、該割込処理が許可された
後、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、
前記普通可変表示期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後
に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態
が終了するまで前記普通可変表示期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したとき
に前記普通可変表示期間の計時が再開され、
前記可変表示停止期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後
に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態
が終了するまで前記可変表示停止期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したとき
に前記可変表示停止期間の計時が再開される、
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来、複数の設定値のうちのいずれかに設定可能であり、設定された設定値にもとづいて遊技者にとって有利な有利状態の制御を実行可能なパチンコ遊技機があった。このようなパチンコ遊技機において、設定値を確認するための設定確認処理では、実行中のメイン処理が全て終了したときにしか次の処理へ移行できなかった（例えば、特許文献1参照）

。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、特許文献1にあっては、設定確認をすぐに行いたい状況のときに、実行中の全ての処理が終わるまで待たねばならず、好適に設定確認作業を実行することできないという問題がある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、好適に設定確認作業を実行することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

（A） 可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって

、

前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、

前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段と、

遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、

遊技媒体が所定領域を通過したことに基づいて、普通識別情報の可変表示を行い表示結果を導出表示する普通可変表示手段と、

普通識別情報の可変表示を行う普通可変表示期間を計時する普通可変表示計時手段と、

可変表示が停止した後から次の可変表示が開始されるまでの可変表示停止期間を計時する停止期間計時手段と、を備え、

前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が許可される前に前記設定確認状態に制御可能であり、

前記設定確認状態が終了したときに前記割込処理が許可され、該割込処理が許可された後、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、

前記普通可変表示期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了するまで前記普通可変表示期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記普通可変表示期間の計時が再開され、

前記可変表示停止期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了するまで前記可変表示停止期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記可変表示停止期間の計時が再開される、

ことを特徴とする。この特徴によれば好適に設定確認作業を行うことが出来る。

(1) 可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態 (例えば、大当り遊技状態) に制御可能な遊技機 (例えば、パチンコ遊技機 1) であって、

遊技を進行可能な遊技制御手段 (例えば、CPU 103) と、

前記遊技制御手段からの情報 (例えば、演出制御コマンド) に基づいて、演出を制御可能な演出制御手段 (例えば、演出制御用 CPU 120) と、

遊技者にとって有利度が異なる複数段階の設定値 (例えば、設定値 1 ~ 6) のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段 (例えば、CPU 103) と、

所定条件の成立 (例えば、設定変更操作が実行されること) に基づいて、設定値の変更が可能な設定変更状態に制御可能な設定変更手段 (例えば、CPU 103 が設定変値変更処理を実行する部分) と、

前記有利状態中に遊技者にとって有利な第 1 状態 (例えば、開放状態) と、当該第 1 状態よりも不利な第 2 状態 (例えば、閉鎖状態) とに変化可能な可変入賞装置 (例えば、特別可変入賞球装置 7) とを備え、

前記演出制御手段は、前記可変入賞装置を前記第 1 状態とすることを指定する情報 (例えば、大入賞口開放中指定コマンド) に基づく動作 (例えば、大当り遊技中のラウンド表示) を所定の演出手段 (例えば、画像表示装置 5) に実行させることが可能であり、

前記所定の演出手段は、前記設定変更状態に制御されているときに、前記可変入賞装置を前記第 1 状態とすることを指定する情報に基づく動作を実行しない (例えば、図 10 - 3 に示すように、演出制御用 CPU 120 は、設定変更状態に制御されているときに、大入賞口開放中指定コマンドを受信したとしても大入賞口開放中指定コマンドを破棄するため、当該大入賞口開放中指定コマンドの受信に基づく制御を実行しない) 。